

第3回石狩市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時 平成30年6月26日（火）10時00分～11時20分

場 所 りんくる2階 交流活動室

出席者 岸邦宏会長、小鷹雅晴副会長、有路剛委員、増田厚志代理、笠松周悟委員、菅野誠委員、梅本利男委員、吉田卓己委員、作田和仁委員、高島健委員、河合保郎委員、大久保満彦委員、福岡順子委員、池田篤司委員、久保田貴浩委員、原口ゆみ子委員

事務局 企画課交通担当課長 上窪健一、企画課交通担当主査 鈴木徹哉

傍聴者 2名

次 第

1. 開 会

2. 議 題

・市の公共交通が抱える課題・ニーズ把握調査・調査スケジュールについて

3. その他

4. 閉 会

===== 審議内容の記録（審議経過、質疑、意見等） =====

※ 以下の質疑・意見については、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨

1. 開会 ※石狩市企画経済部 小鷹部長より開会の挨拶

2. 議題

・市の公共交通が抱える課題・ニーズ把握調査・調査スケジュールについて（※事務局より説明）

●「石狩市地域公共交通網形成計画」策定に向けた調査実施計画について（資料1）

【質疑・意見】

○石狩湾新港地域を対象とした調査を行う必要があると考えられる。

●新港地域の主だった企業に対して、通勤の状況把握など、必要な調査を実施したい。

○新港地域の事業者へニーズ調査を行い、交通事業者と採算含め事業検討をしていくと新しい交通網の形成は難しくないと思う。地方部とは分けて考えるべき。

○買い物については、石狩北部の方は、移動販売を利用する方が多いので「買い物＝移動」ではないと思っている。

第3回石狩市地域公共交通活性化協議会（H30.6.26）

○厚田浜益の市民アンケートでは、全世帯に配布し意見を集めて欲しい。

●市民アンケートの調査数は、統計学的見地から全世帯に配布しなくても一定程度の精度が確保できると考えている。

また、他のアンケート調査は、全世帯を対象に実施しており、更に負担をかけることとなるため、抽出で実施する。

○厚田では、買物目的の交通手段に不便を感じる方が多い。有償運送も運営側の高齢化が課題。

○浜益で行われたデマンドバスのアンケートも参考にすべき。

○過去に花川で循環バスの実証実験が行われたが、採算面で実現しなかった。現在の潜在需要がアンケート結果から浮き彫りになると考えられる。

●今後の方向性を住民や事業者など直接密接に係わるメンバーで集中的に議論するために作業部会を立ち上げて、その作業部会の場で、アンケートの具体的な調査項目の内容などを確定したいと考えている。

●今後のスケジュールについて

市民アンケート調査と観光客・施設利用者ヒアリング及びバス乗降調査については、7月に作業部会を開催して内容を決定し、8月に実施する予定。

次回の第4回協議会は9月頃の開催を予定している。次回の協議会では、アンケート結果の内容を示すのと、公共交通網の課題と計画の方針について議論する予定である。

その後、協議会の議論を踏まえて目標を実現させるための事業を検討し、議論を重ねた後、冬までに計画案を策定・公表の手続きをし、パブリックコメントの手続きを経て来年3月に計画決定したいと考えている。

平成30年8月24日 議事録確定

石狩市地域公共交通活性化協議会

会 長 岸 邦 宏